
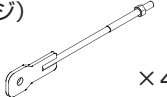


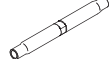


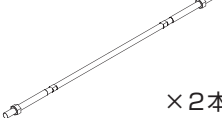

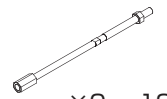




端部金物セット (端部金物4個分)	ブレースセット (ブレース2本分)	別売り品 (端部金物4個分)
床構面四隅に使用する端部金物 関係の部品セット	ブレースに使用する部品セット (床構面サイズにより選択)	横架材幅寸法や納まりに 応じて別途ご用意ください
高耐久OMB端部金物  × 4個	① ブレース用羽子板ボルト M16 (左ネジ)  × 4本	六角ボルト M12  × 16本
ビス TBB-75  × 32本	② ターンバックル M16-250  × 4本	M12用座金 (SW付丸座金推奨)  × 必要枚数 (40角またはφ45)
高力六角ボルト M16-50  × 4本	③ 両ネジボルトブレス M16  × 2本	
専用ワッシャーφ32  × 8枚	④ ジョイントボルトブレス M16  × 0~12本	
皿パネ座金付六角ナット M16-φ32  × 4個		

建築金物の信頼ブランド
オメガ印  **水平構面用鋼製ブレース**
高耐久オメガメタルブレース **施工マニュアル**
〈水平用〉

保護手袋着用

注意

商品を取り出すとき、施工するとき
は、切断面に触れると手を切る恐れ
がありますので注意してください。

ハウスプラス確認検査(株)評価取得済み
HP評価(木)-20-029

■使用上・施工上の注意

高耐久オメガメタルブレース〈水平用〉の使用に際しては、必ず別冊の設計技術マニュアルをよくお読みください。
金物及び接合具は指定の用途以外には使用しないでください。
けが防止のため手袋、保護メガネ等を着用し作業を行ってください。
腐朽、腐食、湿った木材への取り付けは避けてください。
金物取り付けの際には、転落事故防止のため安全を考慮した姿勢と足場を必ず確保してください。
高所作業の際には、転落事故防止のため必ず安全帯の装着及び安全ネットの設置をしてください。
ビスを施工する際には以下の点にご注意ください。

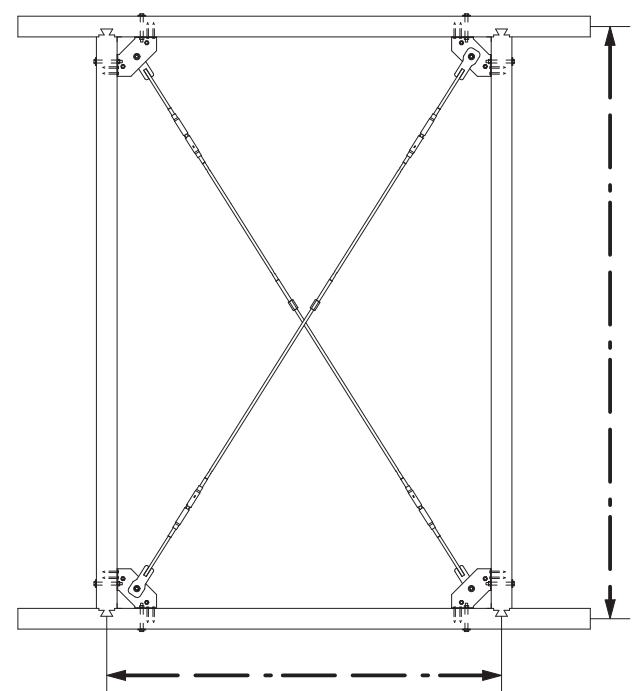
- ・バッテリー式インパクトドライバーをご使用ください。
- ・ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、増し締めはしないでください。
- ・金物面に対して垂直に施工してください。斜め打ちはしないでください。
- ・一度ねじ込んだビスを抜いて、再使用はしないでください。
- ・堅木、木材のフシ部分への施工の際には、下穴をあけてからねじ込んでください。

ナット及びターンバックルは、金物やネジ部が変形するまで、または壊れるまで締め付けしないでください。
横架材同士の接合部には床倍率に合わせた接合金物(羽子板ボルト、ホールダウン、短冊等)で接合してください。
ブレースは必ず「タスキ掛け」で使用してください。
端部金物と横架材の間に石膏ボードや合板を挟んで取り付けしないでください。
勾配のある構面への使用は評価対象外です。(別商品「勾配用オメガメタルブレース」をご検討ください。)
端部金物は分解して使用しないでください。

■使用箇所・用途

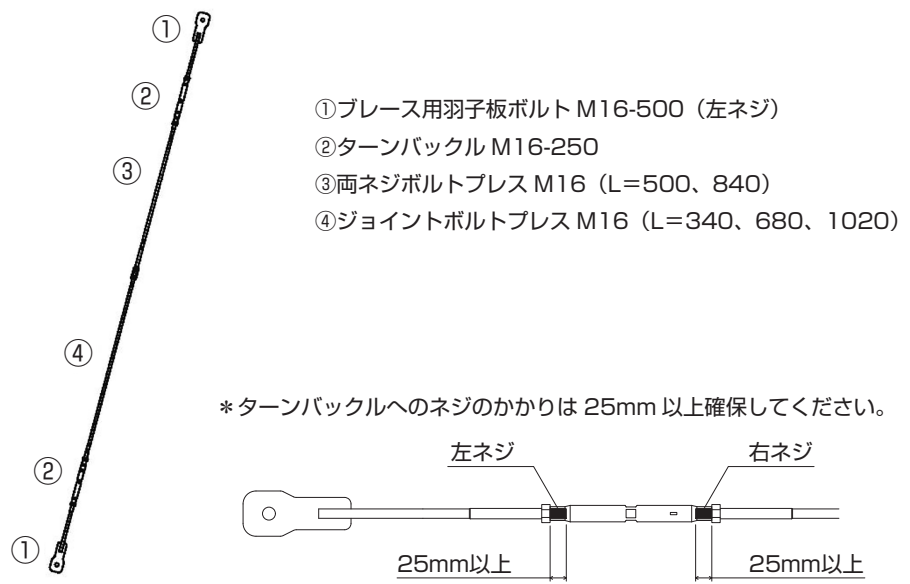
在来木造建築物の水平構面(床組)の床倍率を確保できる水平ブレースです。

■適用範囲説明図



- ・使用できる横架材の断面寸法
幅105mm以上、高さ150mm以上
- ・水平構面のサイズ
横架材間 芯-芯寸法
900mm以上5500mm以下
(床組形状比1:4以下)
- ・ブレースは必ず「タスキ掛け」で使用

ブレースは以下のように組み合わせて1本にしてください。




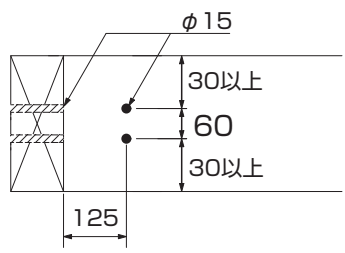
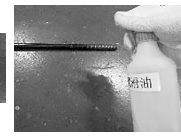


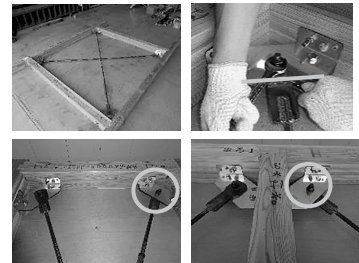
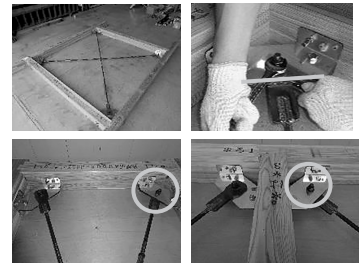

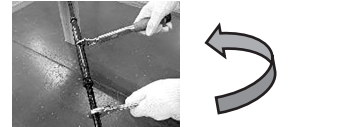
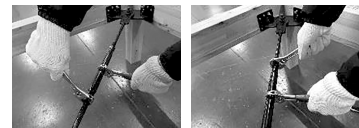

※組み付ける前に、各部品のネジ部に潤滑油などを塗布しておくことで作業性が向上します。

接合金物の使用方法や納まりなど木造建築金物の施工に関するお問い合わせはこちらまで

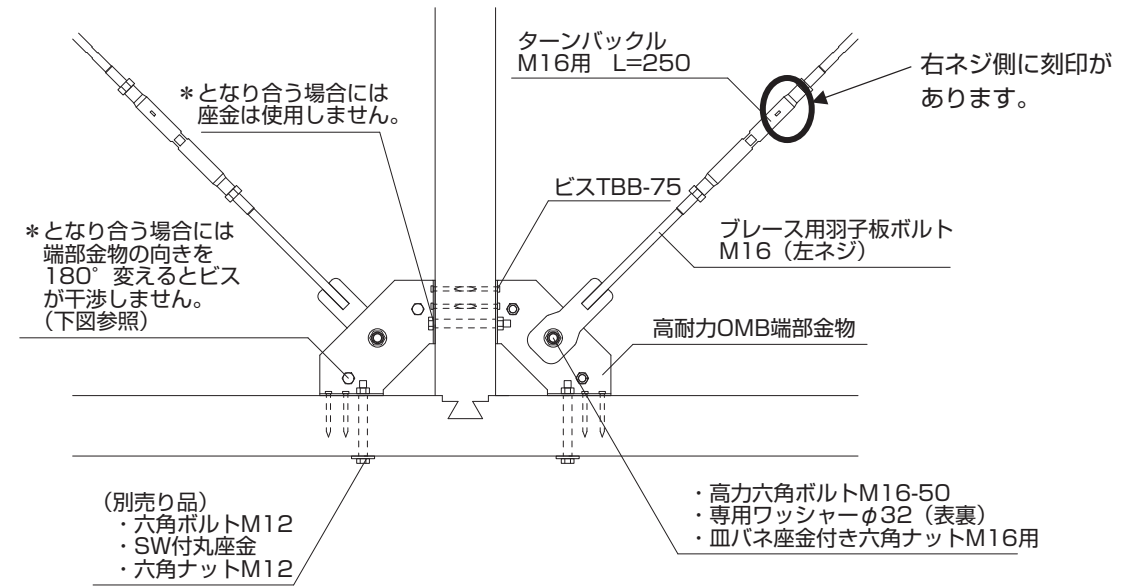


(連絡先) CSセンター フリーダイヤル 0120-558-313
(受付時間) 平日 9:00-17:00
<https://www.tanakanet.co.jp/housing>

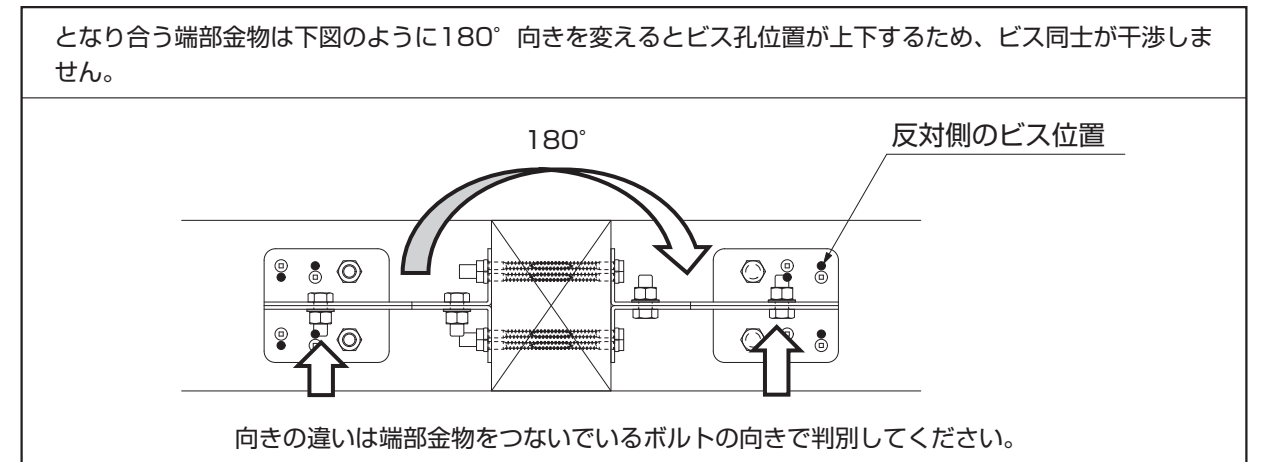
施工手順

<p>① 床構面の四隅に端部金物用のボルト孔をあけます。(プレカットで先にあける場合には設計技術マニュアル38、41ページを確認してください。) 端部金物にボルトを通してナットで締め仮固定し、ビスTBB-75で取り付けます。その後にナットを工具で締め付けます。(端部金物は四隅同じ高さに取り付けてください)</p>  <p>※ブレースを連続配置する場合は、となり合う端部金物の向きに注意してください。(右ページとなり合う端部金物の取り付け例図参照)</p>	<p>単位(mm)</p> <p>ボルト孔加工位置</p> 
<p>② 床構面对角の端部金物のボルト孔間距離を測定し、ブレース用羽子板ボルト、ターンバックル、ジョイントボルト、両ネジボルトを組み付けてください。(2本組み付けます。) ※ネジ部に潤滑油等を塗布すると作業性が向上します。</p> 	
<p>③ 組み付けたブレースのボルト孔と端部金物のボルト孔を合わせ、ワッシャーを介した高力六角ボルトM16を差し込み、反対側をワッシャー、六角ナットM16で仮締めします。その後、六角スパナ等を用いて締め付けます。</p> 	
<p>④ ブレースの対角の反対側も、ターンバックルを回転させてブレース長さを調整し、ワッシャーを介した高力六角ボルトM16を差し込み、反対側をワッシャー、六角ナットM16で仮締めします。その後、六角スパナ等を用いて締め付けます。</p> 	
<p>⑤ もう片方のブレースも同様に③④を実施します。(右ページのブレースの取り付け向き図参照) ブレースを端部金物の表と裏で互い違いに取り付けるとブレース交差部が干渉せずに設置ができます。 ※ブレースセットによっては、ターンバックル同士が干渉する場合がありますが、仕様上は問題ありません。</p> 	
<p>⑥ 左右のターンバックルを手で反時計回りに回し、たるまないようピンと張るよう締め付けます。(ブレース2本とも)</p> 	
<p>⑦ トルクレンチまたは六角スパナを用いてターンバックルを反時計回りに回し、締め付けます。(ブレース2本とも) ※トルクレンチを使用しない場合は、⑥作業後、工具で0.5回転すれば推奨トルクの締め付けになります。</p>  <p>推奨トルク：10N・m</p>	
<p>⑧ それぞれのターンバックル両端部の六角ナットM16を工具で締め付けます。(ターンバックル4本分すべての六角ナットM16を締め付けてください。)</p> 	
<p>作業完了</p> <p>※施工の詳細は、高耐久オメガメタルブレース <水平用> 設計技術マニュアルをご確認ください。</p> 	

■端部金物取り付け例



■となり合う端部金物の取り付け例



■ブレースの取り付け向き (どちらでも可です)

